

第4回 北九州医療・介護連携プロジェクト会議

日時 平成31年4月26日（金）19：00～20：30
場所 北九州市役所 3階 大集会室

0

会議内容

- (1) 病院窓口ガイドについて
- (2) 患者情報取得ツールの検討状況について
- (3) 地域連携室等連絡会について
- (4) 体系的な研修の構築について
- (5) 今後の進め方など
 - ①作業部会員の追加について
 - ②プロジェクト会議の立ち上げ・活動の主な説明状況

1

今後の取組

① 「窓口ガイド」の公表【2か月程度のモデル運用後に本格稼働】

【平成31年度～】

② 地域・団体の研修の体系化

③ 患者情報を取得する何らかのツールの具体化

④ 情報提供ルール・退院調整ルールづくり

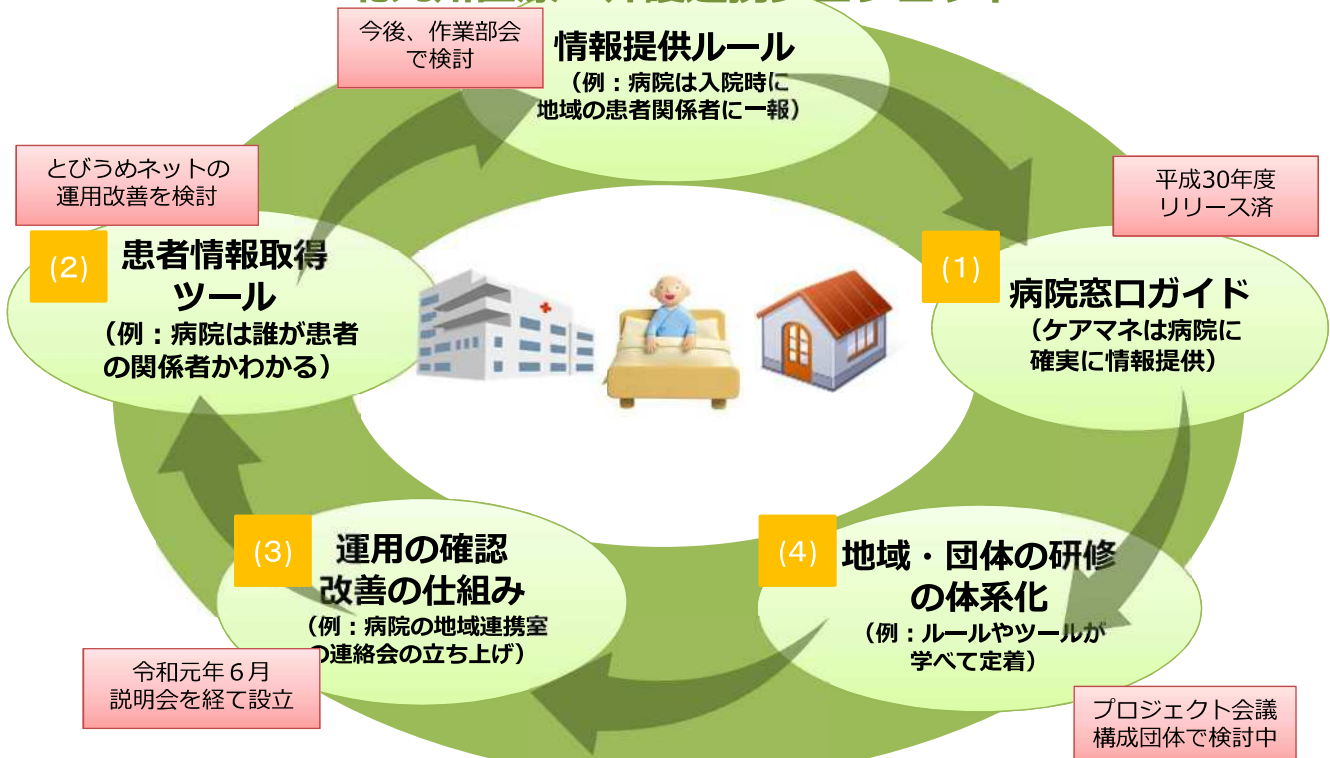
※ 各病院の運用が揃っている部分から「地域ルール」にしていくなど

⑤ 作ったルール・ツールの運用がちゃんと行われているかを確認したり、改善する仕組みづくり

※ 病院の地域連携室の連絡会の立ち上げなど

2

切れ目ない医療・介護の提供のため 医療・介護等専門職が的確かつ効率的に連携できる環境を整備 ＝北九州医療・介護連携プロジェクト



○ 「病院窓口ガイド」は平成30年度に作成・公表

○ その他のツール・ルールや取組は平成31年度に実施（第3回プロジェクト会議合意事項）

3

(1) 病院窓口ガイドについて

1. 現状調査（病院向け）の回収状況

(1) 回答病院 **50病院**（うち、※3病院が病院窓口ガイドの非公表を希望）

※東和病院、小倉第一病院、JR九州病院（公表を検討中）

(2) 回答待ちの病院（調査への協力意向はあり） ※**7病院**

※産業医科大学病院、北九州安部山公園病院、北九州中央病院、

北九州小倉病院、春日病院、南ヶ丘病院、平尾台病院

※残りの病院については、今後立ち上げる地域連携室の連絡会等を通して協力を依頼

2. 病院窓口ガイドの公表状況

○ 3月4日 北九州市HPへ掲載（モデル運用開始：公表病院数 45病院）

○ 3、4月 ・病院からの修正依頼対応

・新規病院の掲載対応

○ 5月上旬 本格稼働（公表病院数 47病院）

4

(2) 患者情報取得ツールの検討状況について

① 新しく患者・利用者を引き受けるときに、今まで患者に関わっていた医療機関や事業所がわからない（情報が
ない）等、患者情報の取得に（しかも基本的な情報すら）苦労している（7P参照）

② 患者・利用者の入院に関する病院から在宅関係者への連絡など、
情報提供のあり方について病院側の運用と在宅関係者の希望との間でギャップがある（8、9P参照）

③ 市内全体で効率よく患者・利用者情報が提供・共有される仕組みを作るためには患者情報取得ツールのニーズ
が高い（10P参照）

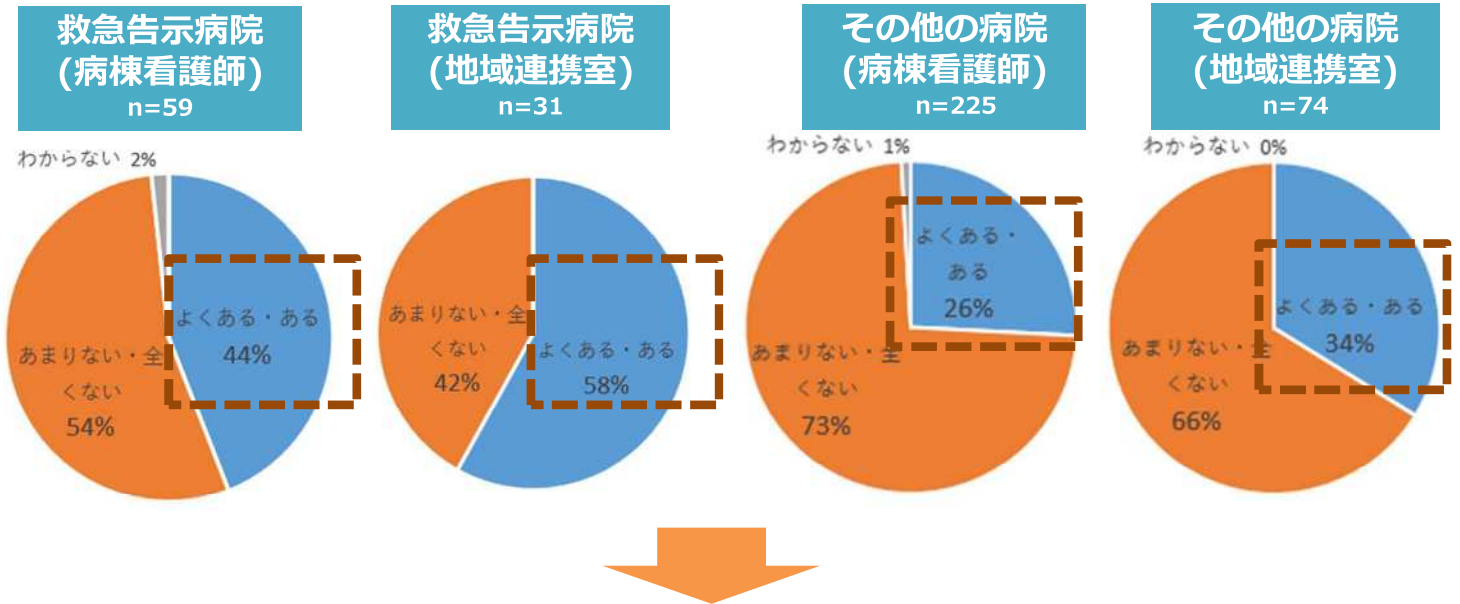
④ 一方、患者情報を取得するツールが紙媒体のみの場合、
「本人が持参しない/紛失する」
「緊急時にありかがわからない」
「24時間対応した受け渡しが困難」
などの可能性がある。また、情報を記入する医療・介護関係者の負担が大きいなど、運用や普及に課題がある

⑤ 病院からはICTの活用を望む声がある（11P参照）



これを踏まえ、
第6回作業部会（平成31年3月7日）、事務局で骨子を作成

Q 新しく患者・利用者を引き受けるときに、今まで患者に関わっていた医療機関や事業所がわからない（情報が無い）ことがある



患者の情報の取得に（しかも基本的な情報すら）苦労している

【出典】北九州医療・介護連携プロジェクト会議
「医療・介護連携に関する調査」（平成30年10月）6

患者が入院した際の第一報を行う患者像

【病院】 すべての患者 27.9%



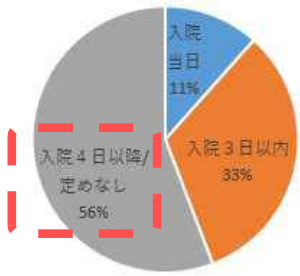
患者・利用者が入院した際の第一報をもらいたい患者像

【診療所】 すべての患者 83.9%

【訪看・CM事業所】 すべての患者 79.7%

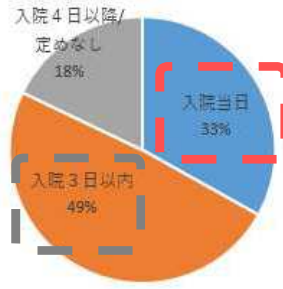
【出典】北九州医療・介護連携プロジェクト会議
「現状調査結果」（平成31年2月）

○患者が入院した際の第一報を行う時期

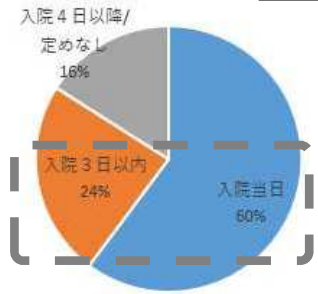


病院
n=43

○患者・利用者が入院した際の第一報を
もらいたい時期

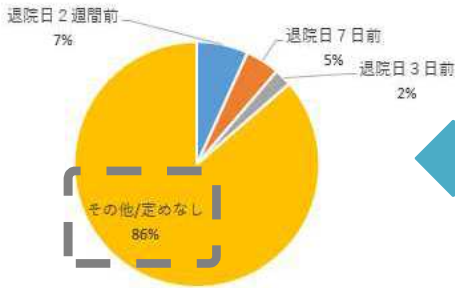


診療所
n=155



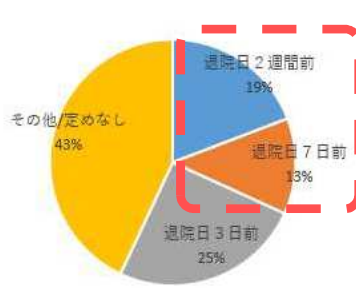
訪問・CM事業所
n=256

○患者の退院見込みの連絡を行う時期

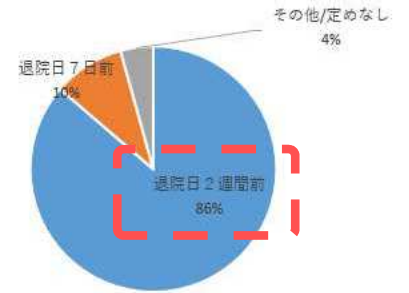


病院
n=44

○患者・利用者の退院見込みの連絡を
もらいたい時期



診療所
n=155



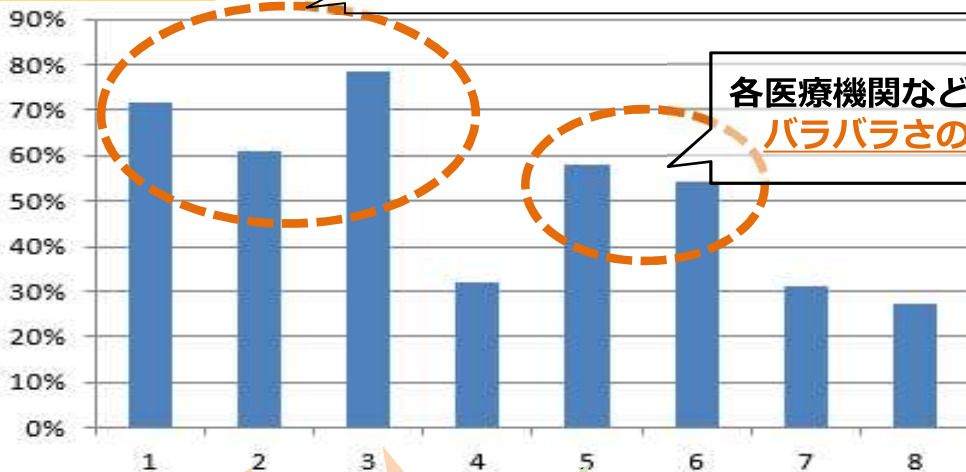
訪問・CM事業所
n=256

【出典】北九州医療・介護連携プロジェクト会議 「現状調査結果」(平成31年2月) 8

Q 市内全体で効率よく患者・利用者情報が提供・共有される仕組みを作るためには、何が
必要か？(5つまで選択)

全体 n=1,031

患者・利用者情報の取得をスムーズにしたいと思っている



各医療機関などの取扱いの「見える化」や
バラバラさの縮小などへの期待もある

■ 選択率

た共通カード
(患者・利用者が所持)

既往や家族情報、医
療・介護の経過等を書
く共通ファイル
(患者・利用者が所持)

医療機関や介護事業所
の間で受け渡す
共通の情報共有シート

各機関の入退院時の
窓口連絡先・独自ルー
ル等の一覧

入退院時等に、どの医
療機関や事業所でも使
える患者・利用者への
説明用パンフレット

【出典】北九州医療・介護連携プロジェクト会議 「医療・介護連携に関する調査」(平成30年10月) 9

○患者・利用者情報を引き継ぐための何らかのツールとして、 **ICTの活用を望む声。**

【プロジェクト会議立ち上げ時の公的病院への説明の中で出た意見】

(A病院) 平成30年10月10日

院長：もうクラウドの時代。24時間発生する行き倒れの人を救うには、とびうめを開業医中心の取り組みから、地域の病院や行政などからも情報を入れられるようにしていき、それを土台にしていくというようにすることがよい。

(B病院) 平成30年10月15日

院長：とびうめネットの活用など、既存のインフラとの関係をどうするか考える必要がある。

いずれにしても、簡単どころから手をつけていって、少しでも良くなる方向に進むといい。

事務長：連携の話はとても重要だが、紙ベースの取り組みは、当院のように膨大な患者が来るところでは難しい面がある。

(C病院) 平成30年10月17日

院長：今後、独居高齢者も増えてくるので、カードでも何でもいいが、共通ツールがあるといい。

とにかくやってみること。運用が大事。モデル地区などで、どこかでやってみるなど。

やってみると意外とうまくいくかもしれないし、そうでないかもしれない。本来は、

電子カルテの仕様を決めてもらって、地域でつなぐのが一番早いのだが。

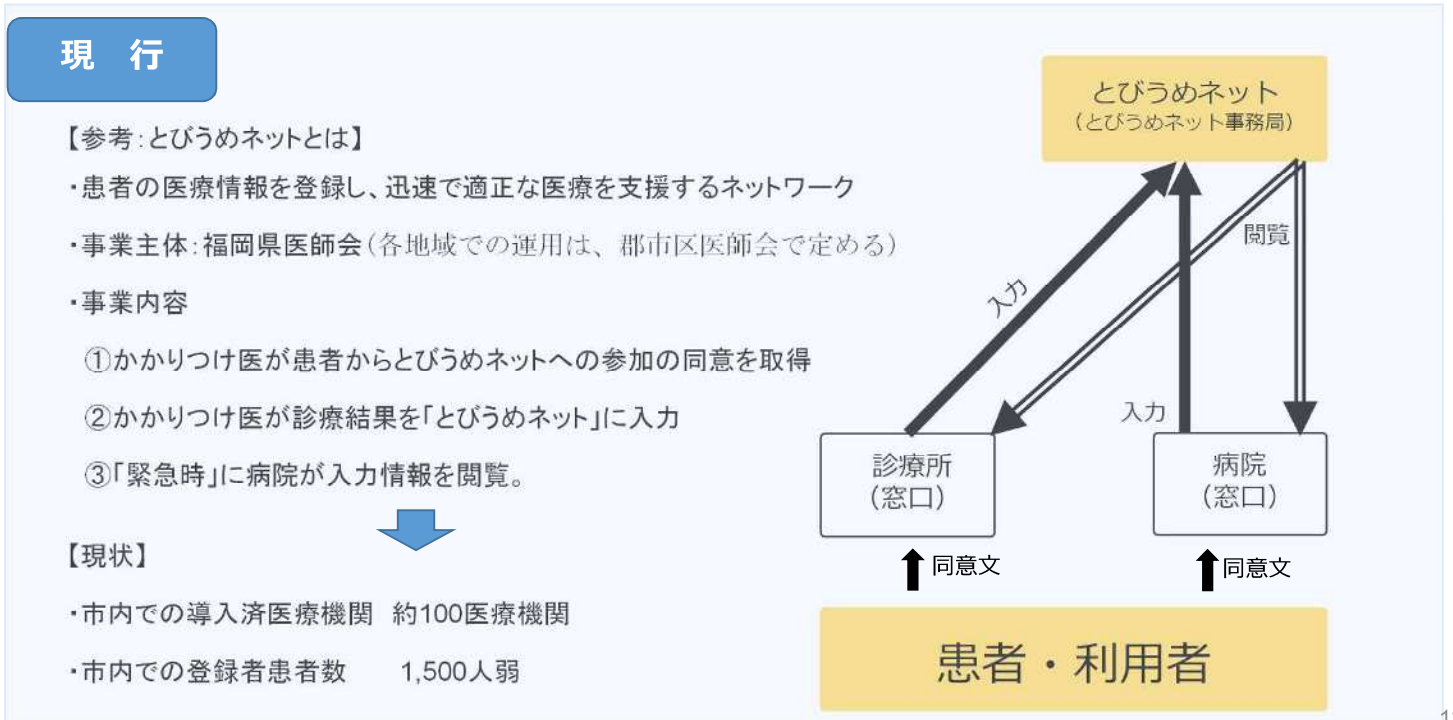
事務長：共通のカードをキーに、どこかクラウド上とかに情報を集約して、見にいけるようになればいい。

連携職員：退院に向けた連絡調整を患者の担当ケアマネジャー等と行う必要が発生したが、患者のケアマネジャー等がわからない場合がある。その際は、患者の住所地周辺にあるケアマネ事業所に手当たり次第に電話確認をしている。

北九州とびうめネット連携事業（H31.3骨子案）

1. 位置づけ

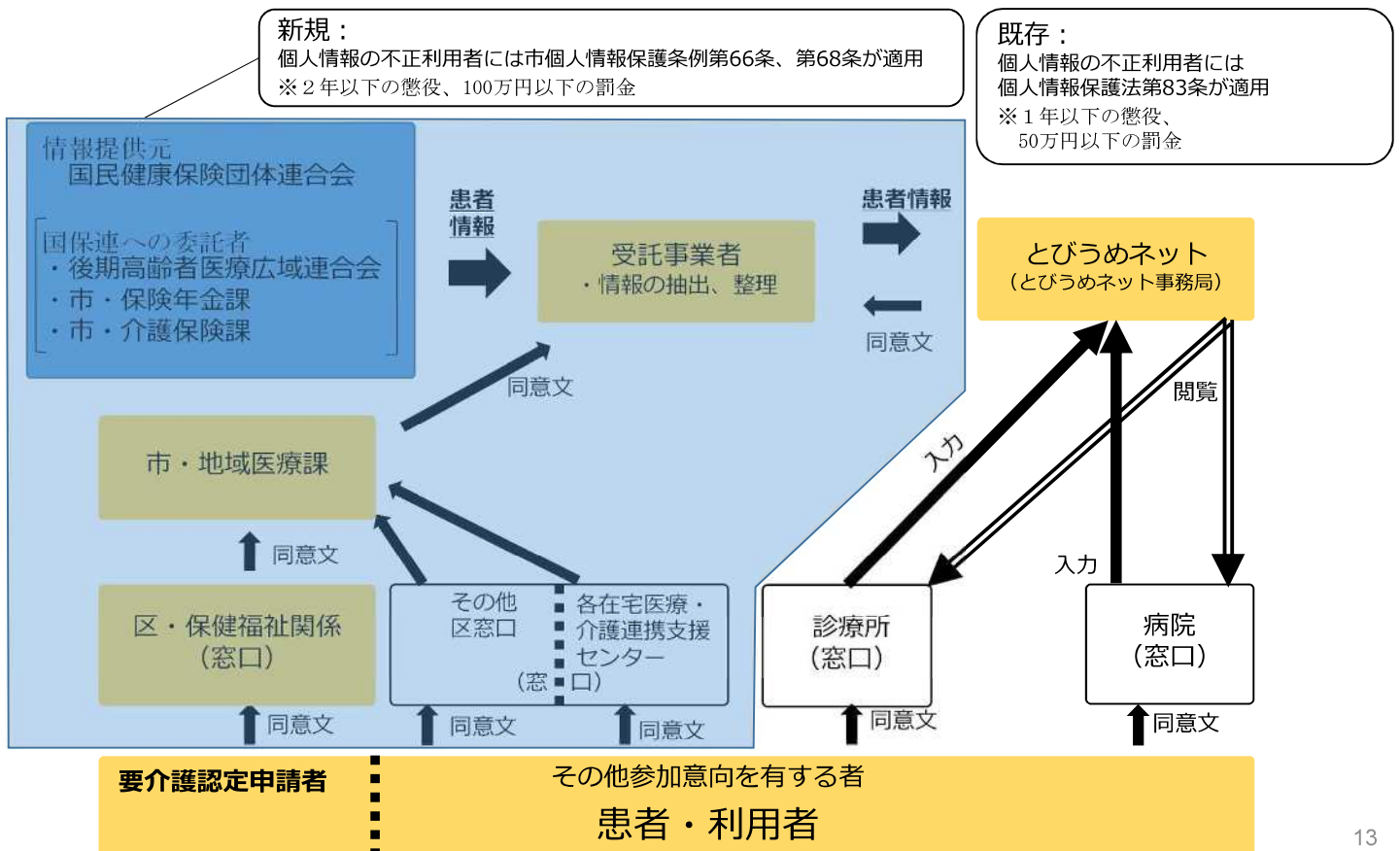
- 「とびうめネット」について、本市が関与することによる改善可能性を検討し、改善案を整理したもの。
- 今後、この骨子をもとに関係者（医師会等）と協議・調整を行う。



12

2. 改良内容

本市が、とびうめネットに対して、住民の基礎的な情報（国保連の持つ医療機関名、傷病名、投薬、調剤、要介護度、認定期間、ケアマネ事業所名等の情報）を提供や、これに伴う本人同意手続を行う。



3. 事業主体

- 県医師会、市医師会、区医師会、北九州市の共同事業と位置づける。

4. 対象者、提供情報及び同意取得窓口

- 要介護認定申請者を中心に、とびうめネットに情報を提供することを希望・同意する者

5. 提供する情報

共 Thông報：基本四情報（氏名（カナ氏名含む）、住所、生年月日、性別）

医療情報：医療機関名、傷病名、投薬、調剤（医薬品名など）

介護情報：要介護度、認定期間、サービス事業者名（ケアマネ事業所など）

（情報提供する物：医療保険資格情報、医療レセプト、調剤レセプト（いずれも国保、後期）
介護保険資格情報、介護保険レセプト
※ レセプトは保険者による査定・再審査前の情報（時点は2か月前程度）
※ レセプトの抽出は氏名・被保険者番号等をもとに実施予定）

6. 窓口

- 病院 ○ 診療所
- 在宅医療・介護連携支援センター※要検討 ○ 区保健福祉関係部局（介護保険係、その他等）※要検討

7. 閲覧者の範囲・手続

- とびうめネットを導入した病院及び診療所が、自院にかかった患者の情報を閲覧できることとする。

（※ なお、上記の閲覧者がとびうめネットを閲覧する際の手続は以下のとおりであり、ネットワークの安全性等については、県医師会が、厚生労働省、会計検査院に説明済である。
① とびうめネット事務局に事前登録
② とびうめネット事務局がVPNの設定
③ とびうめネット事務局がユーザーIDとパスワードを配付）

8. 費用負担

- 初期開発経費については、福岡県地域医療介護総合確保基金（県医師会への交付分）の活用について県・県医師会と協議する。
- 運用経費の負担のあり方については、県医師会・市医師会と協議する。

9. スケジュール及び関係者の調整

- 平成31年夏～秋からとびうめネットの改修を開始し、同年秋～冬から一部地区でのモデル運用の開始を目指して、関係者との協議・調整を進める。

【必要な段取り（順不同）】

- 専門家、市民などからの意見聴取
・北九州医療・介護連携プロジェクト会議（公開） ・北九州市個人情報保護審査会
- システム関係
・北九州市高度情報化調整会議
- 病院・専門職向け説明会
- 議会への報告（随時）
- 区役所内の窓口関係

【モデル実施】 ※今後地区を要調整

- 実施期間 ～令和2年3月
- 実施エリア 八幡東区、八幡西区

10. 個人情報保護法制との関係

- 本事業において、窓口で得る本人同意は、
 - ① 本市が国保連から提供を受けた医療・介護情報をとびうめネットに対して提供すること
 - ② ①の情報について、とびうめネットが登録医療機関に対して医療・介護情報を提供することについてのものと整理する。
- とびうめネットを閲覧できる医療機関における閲覧者の範囲など個人情報の安全管理措置等のあり方や、不正利用が起きた際の監督権限の発動等のあり方については、今後整理する。

北九州医療・介護連携プロジェクト会議 (公開する場合のイメージ)

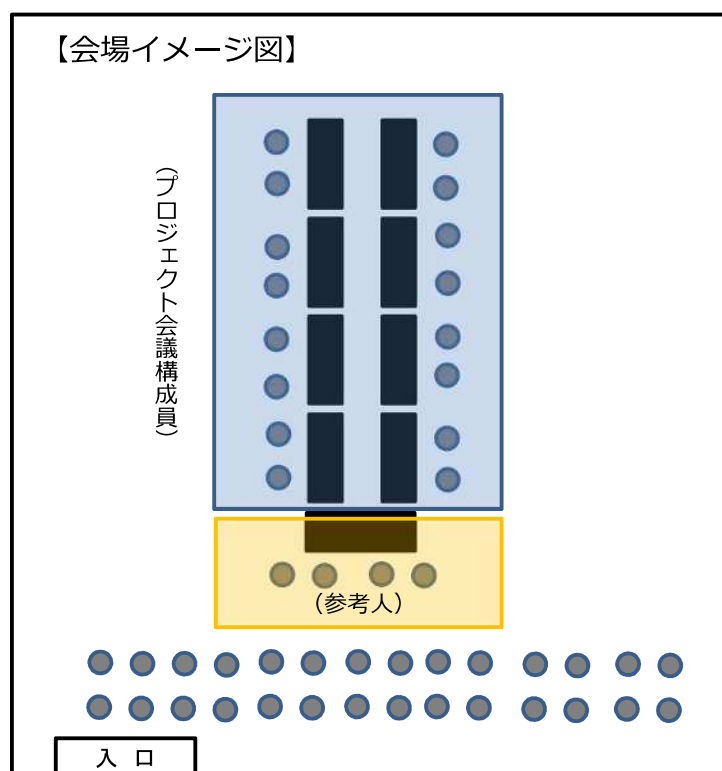
時 期 令和元年7月ごろ

参加者 プロジェクト会議構成員
とびうめネット事務局

参考人 市民代表
有識者（医療、法曹など）

内 容

- ・北九州医療・介護連携プロジェクトについて
- ・北九州とびうめネット連携事業について
- ・意見交換
- ・質疑応答



16

(3) 地域連携室等連絡会について

これまでのプロジェクトの成果

- 病院窓口ガイド、北九州とびうめネット連携事業など医療・介護連携を円滑にするためのルール・ツールの具体化が進んでいる
- 現状調査説明会（平成30年12月実施）に参加した52病院の参加者（106名）の内、72.7%から「市内の病院の入退院支援関係部署（地域連携室等）が集まった連絡会等が必要」との声があった



次の一手を考える

- 具体化したルール・ツールの運用が適切に行われているかを確認したり、改善する仕組みづくりが必要
例：病院窓口ガイド、北九州とびうめネット連携事業
- 市内の病院の地域連携室等の連絡会を立ち上げてはどうか

17

連絡会で行いたいこと（イメージ）

- ① 病院窓口ガイドの使用後の意見や改善案を話し合う
- ② 他の病院の入退院支援を紹介し合う
- ③ 病院の地域連携室等の病院－在宅関係者間の情報提供ルールを導入する

など

加入条件（イメージ）

- ① 北九州医療・介護連携プロジェクトの取組に協力いただいている病院の地域連携室等であること
- ② 参加いただいた病院を市のHPで公表すること
- ③ 連絡会の連絡調整やアンケート等に電子メールで対応できること

など

18

患者情報共有ツール及び地域連携室等連絡会設立に関する説明会・意見交換会

1. 日 時 令和元年6月3日（月）19:00～20:30
2. 場 所 アシスト 2F 講堂
3. 内 容
 - 19:00 「病院窓口ガイド」に関する意見交換
 - 19:30 「新たな情報共有ツール」に関する意見交換
※情報共有ツールの詳細については当日公表します。
 - 20:15 地域連携室等連絡会の設立について
福岡県看護協会 閑地 敦子
福岡県医療ソーシャルワーカー協会 藤好 正和
北九州市保健福祉局地域医療課長 青木 穂高
4. 対象者 他医療機関・事業所との連絡調整部署(地域連携室等)の室長またはそれに準ずる方

19

1. 概要

- 平成30年8月の設立から構成団体の協力のもと、本プロジェクト会議の取組の周知活動を行ってきた（約3,500人）。そのような中、本会議の取組も「医療・介護連携に関する調査（ニーズ調査）」、「現状調査」、「病院窓口ガイド」など着実に進んでいる状況である。
- 「医療・介護連携に関する調査」の結果によると、「患者・利用者情報の提供等」における市内の医療・介護関係者にとっての**理想**は、地域のルール・ツールがあることに加え、「**体系的な研修会・勉強会が行われることで、地域のルール・ツールが学べて定着すること**」であった。（下図参照）
- これを実現するために、以下の取組を検討していくこととする。

2. 体系的な研修の構築に向けて

- 研修には以下の段階が考えられる。

基本編
↓
応用編

研修①：プロジェクト会議の調査結果や病院窓口ガイドなどの成果物に関する**周知・説明**

研修②：プロジェクト会議の**各種調査の実施**（ルール・ツールの運用状況の確認や効果測定も含む）

研修③：プロジェクト会議で取り上げるべき**課題についての議論や集約**

※その他、構成団体等が行っている**研修情報などの収集・公表**

3. 今後の進め方

- 以下のグループ分けをして、各団体等でどういった研修ができるかを持ち帰り検討いただき、次回プロジェクト会議（年度明け）で報告していただければどうか？

グループ	検討いただきたい研修
〔作業部会グループ〕 ・北九州市医師会 ※在宅医療・介護連携支援センター含む ・ケアマネット21 ・福岡県医療ソーシャルワーカー協会 ・福岡県介護支援専門員協会 ・福岡県看護協会 ・訪問看護ステーション	以下の内、できるもの 研修①：プロジェクト会議の調査結果や病院窓口ガイドなどの成果物に関する 周知・説明 研修②：プロジェクト会議の 各種調査の実施 （ルール・ツールの運用状況の確認や効果測定も含む） 研修③：プロジェクト会議で取り上げるべき 課題についての議論や集約
〔作業部会以外のグループ〕 ・北九州市歯科医師会 ・北九州市薬剤師会 ・北九州高齢者福祉事業協会 ・北九州ブロック介護老人保健施設協会 ・福岡県作業療法協会 ・福岡県理学療法士会	研修①：プロジェクト会議の調査結果や病院窓口ガイドなどの成果物に関する 周知・説明

※作業部会以外のグループであっても研修①～③を行うことは可能

※研修の実施に際しては（各団体の意向に応じ）事務局が資料・説明者などバックアップ

(次回プロジェクト会議で報告いただくイメージの例)

※時期が近付いたら別途事務局より依頼

団体名	行う研修	対象	形態	時期
...	②	CM		未定
	①	多職種	多職種向け、研修の中のメニューとして実施	〇月ごろ
	②、③	連携室職員		プロジェクトの進捗に合わせて

(5) 今後の進め方など（作業部会員の追加について）

- ・北九州市医師会
- ・ケアマネット21
- ・小倉医師会訪問看護ステーション
- ・福岡県医療ソーシャルワーカー協会
- ・福岡県介護支援専門員協会
- ・福岡県看護協会

追 加

地域の医療と介護を結びつけるコーディネート拠点である

- ・在宅医療・介護連携支援センター

「北九州医療・介護連携プロジェクト会議」立上げ・活動の主な説明状況

(人数は※印以外は累計。また研修会などは概ねの人数で表記しているものもある。)

分類	機関名称・研修会名	説明・周知日	累計 人数	職種
公的 医療 機関等	門司メディカルセンター	18/9/26	4	院長、看護部長、 事務長、地域連携室
	産業医科大学病院	18/9/27	3	
	JCHO九州病院	18/9/27	5	
	済生会八幡総合病院	18/10/2	2	
	北九州市立門司病院	18/10/3	4	
	戸畑共立病院	18/10/3	3	
	国立小倉医療センター	18/10/9	4	
	製鉄記念八幡病院	18/10/10	3	
	小倉記念病院	18/10/15	4	
	新小倉病院	18/10/15	5	
	北九州総合病院	18/10/17	4	
	九州労災病院	18/10/24	6	
	健和会大手町病院管理会	19/1/23	20	
	市立八幡病院 看護師長会研修	18/10/2	25	
市立医療センター 看護師長会研修	18/10/23	25		
北九州病院グループ リハビリテーション部門講演会	18/11/10	226	リハ職	
行政 機関	保健福祉局幹部会	18/8/30	30	局幹部(課長以上)
	区(地域包括C等)	18/9/5、18/9/10、 18/9/28、18/10/24	※ 31	保健福祉課長・担当課長、 地域保健係長、地域包括C係長
	厚労省(医業・生活衛生局)「市町村職員を対象とするセミナー」	18/10/5		行政職員
多 職 種	在宅医療・介護連携支援センター職員連絡会	18/8/22、18/9/18、 18/11/27	※ 11	連携C職員、市医師会
	小倉在宅医療介護従事者研修会	18/8/25、18/10/17	80	多職種
	若松区多職種連携研修会	18/9/7	123	多職種
	小倉多職種連携研修会	18/11/29	210	多職種
	門司・小倉・戸畑合同介護従事者研修会	18/12/5	200	多職種
	八幡介護従事者研修会	18/12/5	100	多職種
	八幡多職種連携研修会	18/10/19、19/2/15	510	多職種
	北九州市医療介護推進シンポジウム	19/3/16	81	多職種
	門司区多職種連携研修会	18/11/7	132	多職種

「北九州医療・介護連携プロジェクト会議」立上げ・活動の主な説明状況

(人数は※印以外は累計。また研修会などは概ねの人数で表記しているものもある。)

分類	機関名称・研修会名	説明・周知日	累計 人数	職種
医療 関係	北九州市医師会従事者研修会	19/1/22	61	看護師、CM
	小倉歯科医師会 在宅歯科診療推進に係る拠点連携推進協議会	19/3/15	48	歯科医師
	北九州市薬剤師会 理事会	18/10/9	20	薬剤師
	現状調査 病院向け説明会	18/12/17	106	看護師、連携室
	よりよい地域ケアを目指す会 設立総会/市民フォーラム	18/10/13、19/4/6	140	多職種
	福岡県作業療法協会	19/3/4	14	作業療法士
	福岡県訪問看護ステーション連絡会(八幡)	18/9/26	30	看護師
	OT協会北九州ブロック 地域ケア会議に関する研修会	18/9/2	23	作業療法士
	福岡県理学療法士会 管理者研修会	18/9/15	30	理学療法士
	北九州市医師会 病院交流会	18/11/26	139	院長、看護部長、地域連携室
介護 関係	北九州市 看護部長協議会	18/12/5、19/4/12	※ 57	看護部長
	福岡県保険医協会北九州支部 総会	19/1/29	17	医師
	北九州高齢者福祉事業協会 高福協施設長会議	18/8/28、18/12/18	120	施設長
	現状調査 訪問看護、CM向け説明会	18/12/19、21	263	訪問看護師、CM
	地域連携交流会	18/9/14	50	ケアマネ・高齢者施設
	北九州ブロック介護老人保健施設協会	18/9/18、18/10/20、 18/11/9	670	施設長、SW、事務員
	福岡県介護支援専門員協会	18/10/6、18/10/11、 18/10/27	100	CM
	ケアマネのつどい講演会	18/11/5	20	多職種
	ケアマネット21 研修会	18/8/18、18/11/17 19/3/16	275	多職種
	戸畑区介護サービス事業者連絡会	19/2/6	42	CM、SW
門司区介護サービス事業者連絡会	19/4/11	40	CM等	
(有)スマイル職員全体研修	19/4/19	80	訪番・CM、GH・地域密着等職員	
八幡東区ケアマネジメント研修会	19/2/19	61	CM	
合計			4,257	